

JMSCA 新型コロナウイルス（COVID-19） 大会開催運営ガイドライン Ver. 15-3

-  2020.05.16 Ver.1
-  2020.06.18 Ver.2 換気条件見直し
-  2020.06.20 Ver.3 健康チェック見直し（当日）
-  2020.06.30 Ver.4 健康チェック見直し（2 週間前）
-  2020.07.08 Ver.5 IFSC COVID-19 ガイドライン参考（選手タオルの追加、ロープ選手持参）
-  2020.07.15 Ver.6 ロープ安全の目安追加
-  2020.08.01 Ver.7 感染者発生対応追加（盛岡保険当局対応）
-  2020.08.20 Ver.8 ロープ見直し
-  2020.09.24 Ver.9 ロジ関連追加
-  2020.10.01 Ver.10 飲食追加、スタッフ年齢追加（富山健康課対応）
-  2020.12.01 Ver.11 Metell（ミテル）導入（西条対応）
-  2021.01.15 Ver.12 感染確認検査（PCR、抗原）、換気二酸化炭素管理追加
-  2021.05.07 Ver.13 変異株感染防止対策
-  2021.09.05 Ver.14 換気条件として第一種（仮設含む）、選手と接触するスタッフは、原則ワクチン接種完了を追加
-  2022.01.07 Ver.15 有観客対応に「ワクチン・検査パッケージ」による陰性確認を追加
-  2022.04.27 〃 感染ステージ観戦防止分類（P12）、「ワクチン・検査パッケージ」の検査に抗原検査追加

1. 目的

JMSCA 主催又は主管する大会の開催・運営において、新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）の感染防止に努めるために以下のガイドラインを定める。

2. 指針

JMSCA 大会安全管理マニュアル及びこのガイドラインに基づき、会場に来場するすべての人（選手、スタッフ、大会関係者、メディア、他）の COVID-19 感染防止対策を徹底し感染者の発生を防止する。

3. 大会開催の条件

大会の開催は、原則 COVID-19 感染症が終息していること。但し、次の条件を満たすことができれば開催可能とする。

- (1) COVID-19 緊急事態宣言、社会生活の自粛要請等が解除されていること。
- (2) 大会運営において、COVID-19 感染症の感染防止対策を遵守できること。
- (3) 医療機関のひっ迫が改善されていること。治療薬（治療法）ができていること。
- (4) 開催地の県市町村、会場施設、県岳連・協会の同意が得られること。
- (5) 宿泊、交通機関が十分確保できること。

4. 開催の判断

大会開催の延期、中止、観戦の有無の判断は、最低 2 週間前とする。

5. COVID-19 感染防止対策

COVID-19 感染症の最新情報、留意事項を確認し、次の事項に基づき大会毎に「COVID-19 感染防止マニュアル」を具体的に定める。＊変異株などによる感染力、重症化が変化してきた場合は、適時感染防止策を見直す。

5.-1 感染防止対策の決定

(1) 大会感染防止概要

COVID-19 感染症の最新情報、開催地、種目、会場（規模、設備・施設）、宿泊施設等の状況に基づき大会規模（会場入場者数、観客の有無、式典の有無、他）、タイムスケジュール（原則 8 時間以内）、感染防止レベル、他を具体的に定める。

- 会場入場者数は、3 密（密閉、密閉、密接）防止対策、政府や自治体が発信するイベント開催制限、室内は換気基準（30 m³/時人）に基づいて決定する。
- 屋内で行う場合は、第一種換気（仮設含む）および二酸化炭素濃度（600 p p m 以下）の管理を行える施設が望ましい。会場入場者数に基づいて、選手、スタッフ、大会関係者、メディアの入場人数を定める。
- 選手帯同者、メディアは事前登録制とする。
- 感染状況によっては、1 密（密閉、密閉、密接のいずれか）でも感染する可能性があるとして感染防止策を定める。

(2) 会場計画

5.-1(1)に基づき、会場を BOH、FOP、FOH に分類し、それぞれの規模、形状、床面積、建屋体積、換気設備等を基に 3 密防止及び Social Distance 対策を実行できるレイアウト、動線を策定する。

- 会場入場者（選手、スタッフ、大会関係者、メディア、他）の距離はできるだけ 2 m（最低 1 m）を確保できるようにする。必要に応じて足元への目印を設置する。
- 競技、アイソレーション（ウォームアップ）が室内の場合は、密閉空間とならないよう十分換気を行う。換気設備は常時運転とし、窓、ドアを適切に開放し吸気と排気が一定方向になるようにする。
- 換気設備がない場合、サーキュレーターなど使用し、外気との入れ替えが行えるようにする。
- 選手のウォームアップと待機のエリアを明確にし、区画線等でゾーンコントロールできるようにする。
- アイソレーションが狭い場合は、選手個人の懸垂ボードの使用、ウォームアップエリアの滞在時間、移動を定め管理を行う。（IF 基準）
- 運営テント等の設置においても換気が適切にできるよう配置する。
- 受付等、人と人が対面する場所は、パーテーション（アクリル板等）設置、またはフェイスシールドを装着する。
- 感染防止レイアウト、動線については、会場サインに明確にする。

(3) 装備、備品の準備

感染防止として消毒液（アルコール vol70%～85%が望ましい）、石鹼（ポンプ式が望ましい）、マスク（不織布）、体温計（非接触）、ビニール手袋、ペーパータオル、フェイスシールド、他を必要数準備する。来場予定者にはマスク、タオルの持参を求める。また、医療（救護）用として防護服を準備する。

(4) 競技ロープの持参

リード競技に使用するロープは、感染状況に応じて選手の持参とし、次の条件を満たすこと。

- 安全基準、シングルで PSC、EN892、UIAA に適合していること。
- 次の状況にあるロープは使用できない。
 - ・通常クライミングでは使用しない化学物質（酸バッテリー電解液など）に触れたことがある
 - ・芯が見えている
 - ・外皮が激しく毛羽立っている、損傷している
 - ・外皮と芯がずれている
 - ・部分的に固くなったりまたは柔らかくなったりして他の部分と違和感がある部位が生じている
 - ・長い墜落や落下係数 1 を超える墜落を受けた
 - ・落下係数 1 を超える墜落
 - ・ひどく汚れている
 - ・摩擦による熱や火などの熱を受けたことがある
 - ・毎週の使用で 1 年以上経過しているもの
 - ・月 1～3 回の使用で 3 年以上経過しているもの
 - ・呼び径 9.0mm～10.0mm とする（IF 基準）

- ・長さは、大会（会場）に応じて発表する。

(5) 手洗い、消毒体制

- 手洗い場に石鹸を用意し、「手洗い 30 秒以上」等の掲示をする。
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて設置する。（原則、参加者にマイタオルの持参を求める）
- 消毒剤（アルコール等）を会場入り口、他必要箇所に設置し、こまめに手洗い、手指消毒を行うよう呼びかける。
- アイソレーション（ウォームアップ）、更衣室、休憩室の感染リスクが高いとして、ドアノブ、机、椅子など不特定多数の利用者が触れるものは適時消毒する。
- 競技に使用したデバイスなどは、ラウンド後に消毒する。

(6) 健康管理

- 大会来場者予定者（選手、スタッフ、大会関係者、メディア、他）に、事前健康チェック表に基づく健康チェック（体温測定、問診）の協力を求める。
また、大会当日の健康チェック*（体温測定、問診）を実施する。
- 新型コロナウイルス接触確認アプリを登録し、感染者との接触が確認された場合はすみやかに所轄保健所、実行委員会へ連絡し、当日の来場は行わないものとする。

5.-2 大会要項

要項には、通常の大会概要に加え COVID-19 感染防止対策（注意喚起、健康チェック、遵守事項）を明記する。大会要項は、大会 2 ヶ月前に発表し変更、追加がある場合随時更新する。

5.-3 大会準備

大会準備に関わる会議、会場設営においてもマスク着用、3 密防止、手の消毒など COVID-19 感染症防止対策を徹底する。

5.-4 開催・運営時の対策

会場入場者は、大会毎の感染防止マニュアルに従い、マスクの着用と 3 密防止、手の消毒など COVID-19 感染症防止対策を徹底する。また、高温・高湿時は熱中症対策として Social Distance を保って適宜マスクの着脱、水分の補給を行うなど注意をはらう。尚、選手は競技中マスクを外して行うことができる。

(1) 受付

- 健康状況に問題ないことの確認。（下記いずれかの方法で行うことを大会前要項にて発表する。）
 - ・健康管理アプリ（Metell）による管理
 - ・事前健康チェック（健康チェック表 2）、当日健康チェックの実施（健康チェック表 1、検温）する。
- 入場者がマスクの装着（持参）をしていること確認する。

- 緊急時の連絡体制として参加者の宿泊場所、代表者の連絡先を把握する。
- 持参しているロープが適合しているかの仕様書（様式実行委員会作成）の確認を行う。
- 接触確認アプリ COCOA の登録確認を行う。
- PCR 検査、抗原検査の実施、確認（大会毎に検討）

(2) 次の症状、状況にあるとき会場への入場を原則禁止する。

- 事前チェックにおいて、発熱、咳、倦怠感など症状が続いている場合。
- 当日の健康チェックにおいて 37.5℃以上の発熱がある場合。
- 家族や身近な人に COVID-19 感染症の感染が疑われる方がいる場合。
- 2週間以内に、渡航禁止地域に渡航したことがある場合。

(3) 選手へのケータリングは原則行わない。

- スタッフ、関係者の飲食は、決められた場所で感染防止（3密防止、会話を控える）のもと行う。
- 大皿やトング等の使いまわしを伴うケータリングでの飲食は原則禁止とする。
- 飲食物を手にする前に、手洗い、消毒を行うよう呼びかける。

(4) 観戦

- 原則 COVID-19 感染防止期間は無観客とする。
- 有観客を行う場合は、次の確認を行い入場管理する。
「ワクチン・検査パッケージ」（「新型コロナワクチン接種証明」または「検査陰性証明」）による確認を行う。PCR 検査は 72 時間以内、抗原検査は 24 時間以内とする。
・観客入場の場合は、体温確認（非接触）を行う。37.5℃以上の場合入場を禁止する。
・観客へのマスクの着用徹底と注意事項の掲示、呼びかけを行う。マスクの着用がない場合は入場を禁止する。
・大声での声援は控えること。

(5) 換気

5.-1(2)会場計画による。

(6) ゴミの廃棄

- ゴミの廃棄は、開催地、開催施設の方針に従う。
- マスク、鼻水、唾液など体液が付着したゴミは、ビニール袋に入れて密封し廃棄する。
- 会場来場者は個人のゴミは、持ち帰りとする。

(7) 競技

- FOP は、5.-1(2)会場計画に基づいて、アイソレーション（ウォームアップゾーン）、トランジット、コールゾーン、競技エリアの設置を行う。大会実行委員長、テクニカル・デリゲイト、審判長は安全、感染防止対策等に問題ないか確認する。
- 競技ルートは、予選など選手が同時に競技する場合、密にならないようルートセットする。
- 選手は、各自マットや椅子の感染防止としてタオルを上において使用する。タオルは選手が用意する。
- ビレイヤー、審判はフェイスシールドを装着して行う。
- ラウンド終了後、頻繁に触れる箇所（ドア、椅子、トイレなど）やデバイス（ビレイ）はアルコールまたは消毒剤で洗浄する。
- ボルダリングにおいて、ブラッシングは選手自身が行う。
- 公式掲示板（オフィシャルボード）、予選のデモンストレーションビデオはインターネット上で行う

(8) 装備

大会毎に、以下の装備について検討し大会要項に明記する。

- チョークは、液体チョークを推奨する。
- 感染防止として、選手は個人のロープを持参し使用する。5.-1(4)競技ロープの持参参照。

(9) メディア

5.-1(2)に基づき大会毎に別途定める。ミックスゾーン、取材、撮影は最小限にする。

(10) 式典（セレモニー）

式典（セレモニー）は、原則表彰式のみとし、開会式、クロージングセレモニー等を行わない。

- 表彰式では選手は、マスクを着用しない。
- プレゼンターは、マスク、手袋を着用する。
- 表彰状、メダル、トロフィー、花、他賞品は選手がトレイから直接受け取る。
- 握手、抱擁など禁止とする。

(11) 会場管理

- COVID-19 対策の注意喚起（手洗い・消毒、マスク着用、3密防止）として表示、呼びかけを徹底する。
- 大会安全管理責任者または大会実行委員長は、競技中 COVID-19 感染防止対策の実施内容が守られているかを管理する。

(12) 会場外で飲食

飲食は、政府のガイドライン（店舗、人数、時間など）に基づいて行動する。

(13) 大会スタッフ

大会スタッフは、COVID-19 感染による重症化を防止するため原則 60 歳以下、また持病（基礎疾患等、下記参照）を持っていないこととする。また、選手と接触するスタッフ（受付、アイソ、コールゾーン、審判、ビレイヤーなど）は、原則ワクチン接種を完了（2 回接種、接種後 2 週間経過）していること。

- 61 歳以上でスタッフにつく場合は、実行委員会にて承認を必要とする。
- 持病：糖尿病、心不全、呼吸器疾患、透析を受けている、免疫抑制剤や抗がん剤を用いているなど

6. 感染者発生対応

大会にて COVID-19 の感染者が発生した場合、緊急時体制に基づいて対応する。関係機関との連絡調整は、準備・撤去においてはそれぞれの業者、組織が行う。大会期間中は、競技を中止し実行委員会において行う。

(1) 感染を疑わせる症状が出た場合

症状がひどい場合や 2 日以上続いている場合は、「帰国者・接触者相談センター」に相談。

(2) 感染症と診断された場合、保健所と以下対応を協議

- 発症 2 週間前までの行動の把握
- 感染者との接触状況の把握
- 発症してからの会場の動線の把握
- 濃厚接触者の自宅待機を指示（感染者と最後に濃厚接触した日から起算して 2 週間）

(3) 感染者の濃厚接触者として特定された場合、保健所と以下対応を協議

- 感染者との接触状況の把握
- 濃厚接触者の自宅待機を指示（感染者と最後に濃厚接触した日から起算して 2 週間）

(4) 感染症対策室は、自治体や保健所等と連携しながら、感染者の公表、その内容を決 定する。情報の公表にあたっては、感染者に対して不当な差別及び偏見が生じない ように個人情報保護に留意する。

【参考】

- 社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（令和 2 年 5 月 14 日スポーツ庁作成・令和 2 年 5 月 25 日改訂）
https://www.mext.go.jp/sports/content/20200514-spt_sseisaku01-000007106_1.pdf
- 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（令和 2 年 3 月 28 日（令和 2 年 5 月 25 日変更）新型コロナウイルス感染症対策本部決定）
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000633501.pdf>
- 移行期間における都道府県の対応について（令和 2 年 5 月 25 日内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長事務連絡）

https://corona.go.jp/news/pdf/ikoukikan_taiou_0525.pdf

- 新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を公表しました（厚生労働省ホームページ）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html

- スポーツ活動再開時の新型コロナウイルス感染症対策と熱中症予防について（公益財団法人日本スポーツ協会）

<https://www.japan-sports.or.jp/news/tabid92.html?itemid=4164>

- IFSC

[https://cdn.ifsc-](https://cdn.ifsc-climbing.org/images/World_Competitions/200707_Addendum_COVID-19_v12_2.pdf)

[climbing.org/images/World_Competitions/200707_Addendum_COVID-19_v12_2.pdf](https://cdn.ifsc-climbing.org/images/World_Competitions/200707_Addendum_COVID-19_v12_2.pdf)

資料1. 会場サイン用ピクトグラム

- 内閣官房、ワクチン・検査パッケージ制度の適用範囲

	健康チェック		消毒
	体温測定		パーティション設置
	マスク着用		タオル
	フェイスシールド装着		PCR/抗原検査
	手消毒		
	ソーシャルディスタンス		
	換気		

	手洗い（石けん）		
---	----------	--	--

資料 2. 事前健康チェック（健康チェック表 2）

スポーツライミング COVID19対応健康チェック表:ver.3 下記の記載事項に間違いのないことを証明致します。

サイン _____

20200911

大会名 _____

ご提供いただいた情報は、 _____ における健康管理について利用いたします。

JM SCA

氏名 _____

提出者の同意なく情報収集、目的外の利用を行うことはありません。 _____ 終了後2週間保管し破棄します。

日付	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
体温（最高）	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k
呼吸器症状	咳が続いている	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□
	息切,呼吸苦しい	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□
	痰が出る	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□
	喉の痛みがある	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□
	鼻水、鼻つまり	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□
全身	頭痛	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□
	全身倦怠感	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□
	関節痛	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□
	下痢	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□
	吐き気・嘔吐	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□
その他	嗅覚、味覚の異常	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□

日付	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
体温（最高）	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k
呼吸器症状	咳が続いている	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□
	息切,呼吸苦しい	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□
	痰が出る	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□
	喉の痛みがある	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□
	鼻水、鼻つまり	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□
全身	頭痛	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□
	全身倦怠感	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□
	関節痛	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□
	下痢	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□
	吐き気・嘔吐	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□
その他	嗅覚、味覚の異常	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□	有□無□

行動チェック
る新
人型
とコ
濃ロ
厚ナ
接ウ
触イ
がル
あス
っ感
た染
。症
有と
¥確
定
さ
れ
た
患
者
、
無
¥
た
は
疑
わ
れ

資料 3. 当日健康チェック（健康チェック表 1）

JMSCA イベント開催 健康チェック表 2022年度版

発行：JMSCA SC部 20220421

入場：

□ 月 日

□ 月 日

□ 月 日

大会名			
	氏名		
所属	□選手(Athlete) □来賓(Visitor) □帯同者(Accompany) □スタッフ(Staff) □メディア(Media) □観客(Audience)		
連絡先(住所)	←必要に応じて		
連絡先(電話)	←必要に応じて		
連絡先(メール)	←必要に応じて		
着席シート番号	←必要に応じて		
vaccine(ワクチン)検査キット	□PCR検査(72時間以内)/陰性 □抗原検査(24時間以内)/陰性 vaccine (ワクチン) □ 3 回接種		
COCOA	□ 登録 □登録なし		
検温	月 日 _____℃ 月 日 _____℃		
問診 1	2週間以内に海外渡航歴ある。有 ☐ 無 ☐		
問診 2	新型コロナウイルス感染症と確定された患者、または疑われる人と濃厚接触があった。 有 ☐ (月 日) 無 ☐		
問診 3	健康状態 ☐ 以下の症状なし *症状がある場合は問診 4、5 をチェック)		
問診 4	発熱 (37.5℃以上)が続いている 有 ☐ 咳が続いている 有 ☐ 息切れ、呼吸が苦しい 有 ☐ 痰がでる 有 ☐ のどの痛みがある 有 ☐ 鼻水がとまらない 有 ☐ 頭痛がする 有 ☐ 全身倦怠感がある 有 ☐ 関節痛がある 有 ☐ 下痢が止まらない 有 ☐ 吐き気・嘔吐がある 有 ☐ 嗅覚、味覚が異常 有 ☐		
問診 5	現在解熱剤を服用しているか 有 ☐ 現在咳止めを服用しているか 有 ☐		

上記の記載事項に間違いのないことを証明致します。

ご提供いただいた情報は、 _____ における健康チェック、感染者発生時の濃厚接触者特定等に使用します。目的外の利用を行うことはなく _____ 終了後2週間保管し破棄します。

サイン

健康チェックアプリミテル I 操作ガイド (LYC2022編)

2022.04.20



LYC2022会場来場者のCOVID-19感染防止対策として、健康管理アプリMetellへの登録、健康状態の記録(大会前2週間)をお願いします。

4. コロナ対策記録 (ワクチン&検査ログ)

ワクチン接種、新型コロナ感染検査陰性の記録ができます。

- ① アプリを起動し入力画面に切り替わった後、ID、パスワードを入力してログイン。
- ② コロナ対策記録をタップ
- ③ コロナ対策内容を選び、データを入力



種別より記録内容(下記)を選びそれぞれの情報を入力。
 ・ワクチン
 ・抗原検査
 ・PCR検査
 ・その他

ワクチン接種記録の場合



← ワクチン接種を選ぶ

← 接種日を選ぶ

← 接種シールを添付

← 送信

* 2回接種の場合は、日時に基
づいて入力、データ添付し送信

